

記入漏れの無いよう
必ず記入すること。

設備の高効率化改修支援事業実施計画書
(温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業) [温泉供給設備の高効率化改修を行う事業]

事業名		○○○○温泉供給設備の高効率化改修による省CO2促進事業				
代表事業者	団体概要	団体名	○○温泉利用協同組合			
		法人番号(半角)	XXXXXXXXXXXX	13桁の法人番号を記入のこと。		
		所在地	〒XXX-XXXX	△△県○○郡□□町▽▽温泉1-1		
		主な業務内容	温泉事業	都道府県名から記載。	産業分類	784
		事業実施責任者・役職	注) 団体の代表権を付与された者で、申請者と同一であること 組合長 □□ 太郎			日本産業分類コードの「数字3桁」を記入すること。
	事務連絡先	資本金	注) 民間企業の場合のみ記入			事業実施責任者は応募申請書の申請者と同一にすること。 役職は記入漏れの無いよう必ず記入すること。 また、様式1に記載の役職名と同一にすること。 例えば、代表取締役社長、代表取締役、取締役社長等や院長、理事長、理事等。
		部署	業務部			
		役職	課長			
		氏名	△△ 二郎	フリガナ	×× ジロウ	
		勤務先住所	〒XXX-XXXX	△△県○○郡□□町▽▽温泉1-1		
		電話番号	XXXX-XX-XXXX	FAX番号	XXXX-XX-XXXX 都道府県名から記載。	
		E-mail	XXXXXX@XXX.XX.jp			
共同事業者	事業実施責任者					
	団体名					
	法人番号(半角)	氏名	所属部署・役職	電話番号	E-mail	
事業実施場所等		注) 事業実施場所名を記入する。また、異なる区画・異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、各施設の関連性を記入する。				
区画住所		△△県▽▽温泉 都道府県名から記載。				
施設概要		△△県○○郡□□町▽▽温泉1-1				
対策名称	<名称・主な業務内容> △△県▽▽温泉：温泉供給		施設を構成する 主な設備	温泉供給設備(配管、ポンプ、 貯湯槽、制御装置等)		
	<製品名(あるものに限る)及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類	温泉供給配管 温泉貯湯槽の断熱ジャケット		
	交換	温泉供給配管の交換	【対策の名称】のみを記入すること。 対策個票・交換の「対策の名称」と同一にすること。			
追加	温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	【対策の名称】のみを記入すること。 対策個票・追加の「対策の名称」と同一にすること。				
施設概要		<名称・主な業務内容>注) 同施設の中で、複数設備の部品交換等を申し込む場合には、必要に応じて行を追加すること。		施設を構成する 主な設備		
対策名称	<製品名(あるものに限る)及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類			
	交換					
	追加					
区画住所		注) 隣接・近隣区画にある異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、必要に応じて行を追加すること。				
施設概要		<名称・主な業務内容>		施設を構成する 主な設備		
対策名称	<製品名(あるものに限る)及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>		設備の種類			
	交換					
	追加					

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

事業実施責任者は応募申請書の申請者と同一にすること。
役職は記入漏れの無いよう必ず記入すること。
また、様式1に記載の役職名と同一にすること。
例えば、代表取締役社長、代表取締役、取締役社長等や院長、理事長、理事等。

単なる事務連絡だけでなく、本事業の実務に精通しており、協会との連絡に支障をきたさない者とする。

【対策の名称】のみを記入すること。
対策個票・交換の「対策の名称」と同一にすること。

【対策の名称】のみを記入すること。
対策個票・追加の「対策の名称」と同一にすること。

--	--

設備の高効率化改修支援事業

（温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業）〔温泉供給設備の高効率化改修を行う事業〕

対策個票（追加）

対策ごとに本様式をコピーして入力してください

複数年度にわたる事業の場合は、年度ごとに本様式をコピーして入力してください

対策番号		実施年度	2019	年
対策の名称	* 実施計画書に記載した名称と同じ名称を記入する。			
対象設備の概要	【基本情報】			
	用途 : エネルギー種別 : 定格出力 : 導入時期 : 法定耐用年数 : 年 1日及び1年の稼働時間 :			
対策内容	【メンテナンス実施体制・実施状況】 * メンテナンス実施者、実施頻度、直近のメンテナンス実施時期及びその内容について記入する。			
	【部品の追加】 * 実施する理由及びその内容を記入する。 ①追加する部品名 ②導入する部品の製造メーカー ③型式 など ④導入する部品の数量			
	①部品名	②製造メーカー	③型式 など	④数量

光熱費・CO2削減効果

活動種別	単価		排出係数		備考
	価格	単位	係数	単位	
系統電力		¥/kWh	0.000512	t-CO2/kWh	
都市ガス		¥/1,000Nm3	2.23	t-CO2/1,000Nm3	
灯油		¥/kl	2.49	t-CO2/kl	
軽油		¥/kl	2.58	t-CO2/kl	
A重油		¥/kl	2.71	t-CO2/kl	
B・C重油		¥/kl	3.00	t-CO2/kl	
液化石油ガス (LPG)		¥/t	3.00	t-CO2/t	
液化天然ガス (LNG)		¥/t	2.70	t-CO2/t	
天然ガス (LNGを除く)		¥/1,000Nm3	2.22	t-CO2/1,000Nm3	

光熱費・CO2削減効果

活動種別	活動量 (年間)				単位	光熱費削減費 ¥	CO2排出削減量 t-CO2	備考
	設備導入当初	現状 (P)	改修後 (A)	削減量 (P-A)				
系統電力					kWh			
都市ガス					1,000Nm3			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
液化石油ガス (LPG)					t			
液化天然ガス (LNG)					t			
天然ガス (LNGを除く)					1,000Nm3			
年間合計						0	0.0	

(対策個票添付資料)

①エネルギー消費量、CO2削減効果、各計算過程の内容の根拠資料

・対象設備の定格出力等性能が分かるパンフレットや仕様書等

・対象設備のシステム図や配置図

②対象設備メーカーや対象設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者

等外部の専門家によるエネルギー消費量、CO2削減効果計算結果及びその計算過程を記した資料。または、環境省のCO2削減効果算出ツールによる計算結果と入力した数値をどこでどのように測って入力したかを記した資料。

--	--

設備の高効率化改修支援事業

（温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業） [温泉供給設備の高効率化改修を行う事業]

対策個票（交換）

対策ごとに本様式をコピーして入力してください

複数年度にわたる事業の場合は、年度ごとに本様式をコピーして入力してください

対策番号		実施年度	2020	年
対策の名称	* 実施計画書に記載した名称と同じ名称を記入する。			
対象設備の概要	【基本情報】			
	用途 : エネルギー種別 : 定格出力 : 導入時期 : 法定耐用年数 : 年 1日及び1年の稼働時間 :			
対策内容	【メンテナンス実施体制・実施状況】 *メンテナンス実施者、実施頻度、直近のメンテナンス実施時期及びその内容について記入する。			
	【部品の交換】 * 実施する理由及びその内容を記入する。 ①交換する部品名 ②導入する部品の製造メーカー ③型式 など ④導入する部品の数量			
	①部品名	②製造メーカー	③型式 など	④数量

光熱費・CO2削減効果

活動種別	単価		排出係数		備考
	価格	単位	係数	単位	
系統電力		¥/kWh	0.000512	t-CO2/kWh	
都市ガス		¥/1,000Nm3	2.23	t-CO2/1,000Nm3	
灯油		¥/kl	2.49	t-CO2/kl	
軽油		¥/kl	2.58	t-CO2/kl	
A重油		¥/kl	2.71	t-CO2/kl	
B・C重油		¥/kl	3.00	t-CO2/kl	
液化石油ガス (LPG)		¥/t	3.00	t-CO2/t	
液化天然ガス (LNG)		¥/t	2.70	t-CO2/t	
天然ガス (LNGを除く)		¥/1,000Nm3	2.22	t-CO2/1,000Nm3	

光熱費・CO2削減効果

活動種別	活動量 (年間)				単位	光熱費削減費 ¥	CO2排出削減量 t-CO2	備考
	設備導入当初	現状 (P)	改修後 (A)	削減量 (P-A)				
系統電力					kWh			
都市ガス					1,000Nm3			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
液化石油ガス (LPG)					t			
液化天然ガス (LNG)					t			
天然ガス (LNGを除く)					1,000Nm3			
年間合計						0	0.0	

(対策個票添付資料)

①エネルギー消費量、CO2削減効果、各計算過程の内容の根拠資料

- ・対象設備の定格出力等性能が分かるパンフレットや仕様書等
- ・対象設備のシステム図や配置図

②対象設備メーカーや対象設備のメンテナンスを行っている事業者、部品・部材メーカーや省エネルギー診断実施事業者

等外部の専門家によるエネルギー消費量、CO2削減効果計算結果及びその計算過程を記した資料。または、環境省のCO2削減効果算出ツールによる計算結果と入力した数値をどこでどのように測って入力したかを記した資料。

設備の高効率化改修支援事業実施計画書
 (温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業) [温泉供給設備の高効率化改修を行うための計画策定を行う事業]

事業名		○○○○温泉供給設備の高効率化改修を行うための計画策定事業				
代表事業者	団体概要	団体名	○○温泉利用協同組合			
		法人番号(半角)	XXXXXXXXXXXX 13桁の法人番号を記入のこと。			
		所在地	〒XXX-XXXX	△△県○○郡□□町▽▽温泉1-1		
		主な業務内容	温泉事業	都道府県名から記載。		産業分類 784
		事業実施責任者・役職	注) 団体の代表権を付与された者で、申請者と同一であること 組合長 □□ 太郎			
	事務連絡先	資本金	注) 民間企業の場合のみ記入 事業実施責任者は応募申請書の申請者と同一にすること。役職は記入漏れの無いよう必ず記入すること。また、様式1に記載の役職名と同一にすること。例えば、代表取締役社長、代表取締役、取締役社長等や院長、理事長、理事等。			
		部署	業務部			
		役職	課長			
		氏名	△△ 二郎	フリガナ	×× ジロウ	
		勤務先住所	〒XXX-XXXX	△△県○○郡□□町▽▽温泉1-1		
E-mail		XXXXXX@XXX.XX.jp				
共同事業者	団体名	事業実施責任者				
	法人番号(半角)	氏名	所属部署・役職	電話番号	E-mail	
事業実施場所等		* 実際に補助事業を行う場所(図面を添付する) △△県▽▽温泉 都道府県名から記載。				
住所		△△県○○郡□□町▽▽温泉1-1				
事業の目的・概要		<p>【目的】 *温泉供給設備の高効率化改修を行うための計画策定が必要となる理由等を記入する 温泉供給設備(配管、ポンプ、貯湯槽、制御装置等)の高効率化改修を実施するのに際し、それぞれの設備の劣化・損傷状況を検討し、改修の優先順位とスケジュールを計画策定する。</p> <p>【概要】 *計画策定の概要を交付規程別紙に定める「対象事業の要件」に関する内容が明らかになるように具体的に記入する。</p> <p>基本計画の調査、効率的な施工方法等の検討、省エネ効果の算定、CO2削減量の算定、事業性・資金調達方法の検討を実施する。</p>				
事業の性格		<p>【事業のモデル性】 * 補助事業のモデル性について具体的に記入する。 当温泉利用協同組合ではこのような事業を行った経験が無いので、低コストでCO2排出量削減を実現できる省エネルギー実証のモデル事業となる。</p> <p>【CO2削減の見通し】 *エネルギー起源CO削減につながるが見込まれる理由等を具体的に記入する。 温泉を供給するための設備は導入から長い時間を経て来っており、経年的な劣化や損傷が認められている。そのため、漏湯や設備の故障につながり、円滑な温泉の利用に影響が生じるリスクを秘めている。また、配管などの保温効果が十分でないこと、利用施設において改めて加温するなど非効率な運用となってしまう。 配管などに高断熱のような高効率な改修を実施し、温泉熱の有効活用を図ることにより、燃料や電気使用量が削減され、省エネやコスト削減につながる。 省エネ効果を高めると電気使用量が削減され、CO2削減につながる。</p> <p>【補助事業の今後の活用・展開の見通し】 *補助事業が今後の自身の省CO2対策や設備投資計画にどのように活用・展開されることが期待されるか具体的に記入する。</p>				

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

日本産業分類コードの「数字3桁」を記入すること。

単なる事務連絡だけでなく、本事業の実務に精通しており、協会との連絡に支障をきたさない者とする。

	<p>温泉供給設備の高効率化改修を当温泉利用協同組合で実施し効果が実証されれば、温泉供給設備を有している他の温泉街を中心とした地域全体にも水平展開することにより、環境へのCO2排出の抑制に貢献できる。</p> <p>そのため、計画策定を行う本事業で具体的な改修方法とそのスケジュールが明確化されるので、その成果を高効率化改修に反映できる。</p>												
事業の内容	<p>【計画策定事業】 *内容、項目、方法を具体的に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画作成 ・効率的な施工方法検討 ・省エネ効果の算定 ・CO2削減の算定 ・事業性および資金調達方法の検討 <p>【温泉供給設備の高効率化改修を行う事業の概要】 *計画策定事業の結果、温泉供給設備の高効率化改修を行う事業の概要を記入する</p> <p>計画策定事業として、改修の事業性、省エネ効果・CO2削減の算定、施工方法等を検討したので、その結果をベースにして、具体的な改修の事業範囲を確定し、改修事業を実施する。</p>												
事業の実施体制	<p>* 補助事業の実施体制について、補助事業者内の施行管理や経理等の体制を含め記入する。</p> <table border="1"> <tr> <td>事業責任者</td> <td>X X X X X</td> <td>X X</td> <td>X X</td> </tr> <tr> <td>事業担当者</td> <td>X X X X X</td> <td>X X</td> <td>X X</td> </tr> <tr> <td>経理担当者</td> <td>X X X X X</td> <td>X X</td> <td>X X</td> </tr> </table>	事業責任者	X X X X X	X X	X X	事業担当者	X X X X X	X X	X X	経理担当者	X X X X X	X X	X X
事業責任者	X X X X X	X X	X X										
事業担当者	X X X X X	X X	X X										
経理担当者	X X X X X	X X	X X										
資金計画	<p>* 補助事業に要する経費を支払うための資金の調達計画及び調達方法を記入する。</p> <p>自己資金にて事業を実施する。</p> <p>【補助対象経費の調達先】 * いずれかに○を付ける。</p> <p><input type="radio"/> ① 補助事業者自身 <input type="radio"/> ② その他</p>												
事業実施スケジュール	<p>* 事業の実施スケジュールを記入する。事業スケジュールは別紙を添付してもよい。</p> <p>7月頃基本計画作成開始～9月頃効率的な施工方法検討～10月頃省エネ効果・CO2削減の算定～11月頃事業性・資金調達方法の検討～12月末事業完了</p>												
他の補助金との関係	<p>* 他の国の補助金等への応募状況等を記入する。</p> <p>なし。</p>												

(実施計画書 添付資料)

①対象施設・設備の概要がわかる資料

②対象施設・設備の図面 (システム図や配置図)

設備の高効率化改修支援事業

実施年度 年

(温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業)

複数年度事業は下記3シートを作成。
 ・総額:本欄はblank
 ・2019年度:「2019」を記入
 ・2020年度:「2020」を記入

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

経費内訳

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	20,048,000 円	0 円	20,048,000 円	19,318,000 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7) × 補助率
	1 円	19,318,000 円	19,318,000 円	9,659,000 円

補助対象経費支出予定額内訳

内訳に補助対象外の経費は記入しない。

1000円未満の端数は切り捨てること。

経費区分・費目・細分	金額(円)	積算内訳	資料番号
工事費		金額の算出根拠が明確になるように詳細に記入し、見積書等と対比できるようにすること。	番号
本工事費		交付規程『別表第2』の経費区分・費目・細分に従って記入すること。	
材料費	11,500,000	7,500,000 温泉供給配管	< 1-1 >
		4,000,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケット	< 2-1 >
労務費	3,518,000	2,535,000 温泉供給配管の交換	< 1-2 >
		983,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-2 >
共通仮設費	1,000,000	600,000 温泉供給配管の交換	< 1-3 >
		400,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-3 >
現場管理費	800,000	500,000 温泉供給配管の交換	< 1-4 >
		300,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-4 >
一般管理費	1,000,000	600,000 温泉供給配管の交換	< 1-5 >
		400,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-5 >
測量及試験費	1,500,000	1,000,000 温泉供給配管の交換	< 1-6 >
		500,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-6 >
合計	19,318,000		

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	購入予定時期
温泉供給配管	温泉供給量500mL/min用	1	12,735,000	12,735,000	2019年11月
温泉貯湯槽の断熱ジャケット	耐熱性	1	6,583,000	6,583,000	2020年9月

この金額は「温泉供給配管等」の材料費のみでなく労務費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費、測量及び試験費等を含む金額を記入のこと。

- 注1 本内訳に、積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。
- 注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。
- 注3 複数年度にわたる事業の場合は、複数年度の事業費総額を記入し、年度ごとの総事業費は、本シートをコピーして記入する。
ただし、次年度以降の補助金を約束するものではない。

設備の高効率化改修支援事業

実施年度 2019 年

(温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業)

複数年度事業は下記3シートを作成。
 ・総額:本欄はblank
 ・2019年度:「2019」を記入
 ・2020年度:「2020」を記入

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

経費内訳

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	13,305,000 円	0 円	13,305,000 円	12,735,000 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7) × 補助率
	— 円	12,735,000 円	12,735,000 円	9,659,000 円

補助対象経費支出予定額内訳 内訳に補助対象外の経費は記入しない。 1000円未満の端数は切り捨てること。

経費区分・費目・細分	金額(円)	積算内訳	資料番号
工事費			番号
本工事費		金額の算出根拠が明確になるように詳細に記入し、見積書等と対比できるようにすること。	
材料費	7,500,000	7,500,000 温泉供給配管	< 1 - 1 >
区分、費用、細分で列を替えること。			見積書中の番号と一致させること。
労務費	2,535,000	2,535,000 温泉供給配管の交換	< 1 - 2 >
共通仮設費	600,000	600,000 温泉供給配管の交換	< 1 - 3 >
現場管理費	500,000	500,000 温泉供給配管の交換	< 1 - 4 >
一般管理費	600,000	600,000 温泉供給配管の交換	< 1 - 5 >
測量及試験費	1,000,000	1,000,000 温泉供給配管の交換	< 1 - 6 >
合計	12,735,000		

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	購入予定時期
温泉供給配管	温泉供給量500mL/min用	1	12,735,000	12,735,000	2019年11月
この金額は「温泉供給配管」の材料費のみでなく労務費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費、測量及び試験費等を含む金額を記入のこと。					

- 注1 本内訳に、積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。
- 注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。
- 注3 複数年度にわたる事業の場合は、複数年度の事業費総額を記入し、年度ごとの総事業費は、本シートをコピーして記入する。ただし、次年度以降の補助金を約束するものではない。

設備の高効率化改修支援事業

実施年度 2020 年

(温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業)

複数年度事業は下記3シートを作成。
 ・総額:本欄はblank
 ・2019年度:「2019」を記入
 ・2020年度:「2020」を記入

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

経費内訳

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	6,743,000 円	0 円	6,743,000 円	6,583,000 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7) × 補助率
	— 円	6,583,000 円	6,583,000 円	9,659,000 円

補助対象経費支出予定額内訳

内訳に補助対象外の経費は記入しない。

1000円未満の端数は切り捨てること。

経費区分・費目・細分	金額(円)	積算内訳	資料番号
工事費			番号
本工事費			
材料費	4,000,000	4,000,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケット	< 2-1 >
労務費	983,000	983,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-2 >
共通仮設費	400,000	400,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-3 >
現場管理費	300,000	300,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-4 >
一般管理費	400,000	400,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-5 >
測量及試験費	500,000	500,000 温泉貯湯槽の断熱ジャケットの追加	< 2-6 >
合計	6,583,000		

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	購入予定時期
温泉貯湯槽の断熱ジャケット	耐熱性	1	6,583,000	6,583,000	2020年9月
この金額は「温泉貯湯槽の断熱ジャケット」の材料費のみでなく労務費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費、測量及び試験費等を含む金額を記入のこと。					

- 注1 本内訳に、積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。
 注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。
 注3 複数年度にわたる事業の場合は、複数年度の事業費総額を記入し、年度ごとの総事業費は、本シートをコピーして記入する。
 ただし、次年度以降の補助金を約束するものではない。

--	--

設備の高効率化改修支援事業

実施年度 2019 年

(温泉供給設備高効率化改修による省CO2促進事業)

経費内訳

記入例は青字で記入しているが、申請時は黒字にすること。

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
	3,380,000 円	0 円	3,380,000 円	3,300,000 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7) × 補助率
	— 円	3,300,000 円	3,300,000 円	3,300,000 円

補助対象経費支出予定額内訳 **内訳に補助対象外の経費は記入しない。** **1000円未満の端数は切り捨てすること。**

経費区分・費目・細分	金額(円)	積算内訳	資料番号
			* 見積書との照合番号
工事費			
測量及試験費	3,300,000	基本設計の請負費	< 1 >
合 計	3,300,000		

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名 称	仕 様	数量	単価(円)	金額(円)	購入予定時期

- 注1 本内訳に、積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。
- 注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。
- 注3 複数年度にわたる事業の場合は、複数年度の事業費総額を記入し、年度ごとの総事業費は、本シートをコピーして記入する。
ただし、次年度以降の補助金を約束するものではない。